

第5章

.....

地域の特徴を活かした
区民が進める食育の取組と
支援のしくみづくり

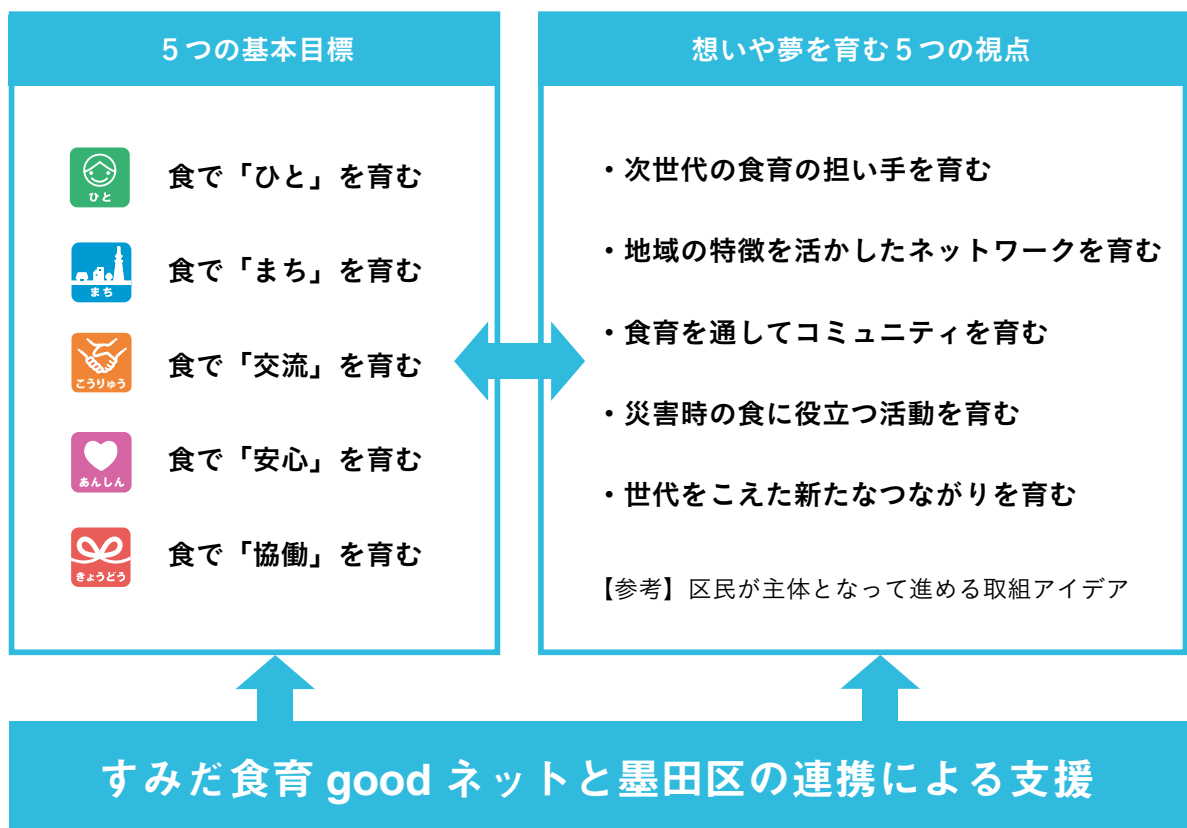
1 地域の多様な食育へのチャレンジと支援環境づくり

「すみだの食育」は、区民などが主体的に取り組む食育活動が、区民と区の協働により行われているのが特長です。

本計画では、さらに地域ごとの取組を進めることで、「すみだらしい食育文化」を区民一人ひとりへとつなげる食育を推進します。

地域に根差した食育を実現するには、地域の多様な人々が参画し「想い」や「夢」を語り合い、具体的な取組へとつなげる場づくりとそれを支援するしくみづくりが必要です。

多様な主体による協働の取組を実践できるよう「すみだ食育 good ネット」と墨田区が連携しながら積極的に支援を行います。



2 地域の特徴を活かした区民提案による食育の取組

本計画の策定においては、これまで地域の多様な人々が関わりながら様々な食育活動を行ってきた児童館を中心に2つのモデル地域（北部：墨田児童会館、南部：立川児童館）を設定し、ワークショップを行いました。

ワークショップでは、区民、学生、若者、地域団体、事業者、企業などの関係者が参画・検討を行い、地域の特徴を活かした取組アイデアが提案されました。

本計画では、これらの提案を区民が主体となって進める取組例として示します。



モデル地域ワークショップ(墨田児童会館)



モデル地域ワークショップ(立川児童館)



地域の取組アイデア報告会(墨田児童会館)



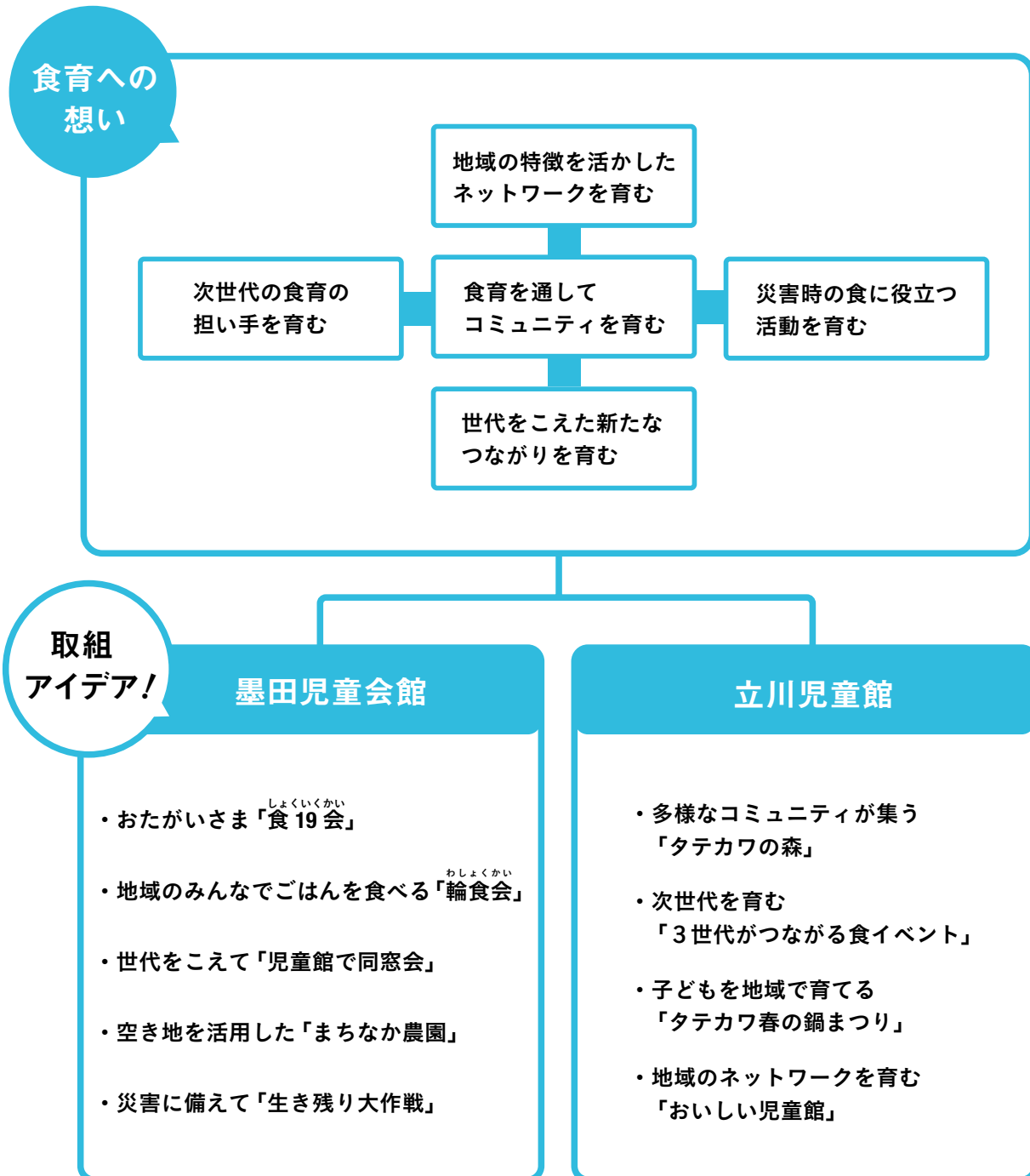
地域の取組アイデア報告会(立川児童館)



地域の取組アイデア報告会（墨田児童会館、立川児童館）

3 地域の想いと取組アイデア

モデル地域ワークショップで提案された食育への想いと、区民が主体となって進める取組アイデアは次のとおりです。



(1) 地域の想いと取組アイデア：墨田児童会館

墨田児童会館でのモデル地域ワークショップでは、次の5つの取組アイデアが提案されました。

区民が主体となって進める取組アイデア	基本目標との対応
<p>おたがいさま「^{しょくいくかい}食19会」</p> <p>食育の日(毎月19日)に地域の人たちが児童館などに集まり、「食19会」を開催します。プロの料理人や地域のおばあちゃんなどから料理を教わり、一緒に食べる「協食」の機会をつくります。また、みんなが実現したいと想う食育の「夢」を具体的に実践するプラットフォームをつくります。年に1回、生産地とすみだをつなぐ交流会などを開催し、災害時のネットワークづくりをめざします。</p>	
<p>地域のみんでごはんを食べる「^{わしょくかい}輪食会」</p> <p>年4回、児童館などで子どもから高齢者まで、多世代の人々が「輪」になってごはんを食べる機会をつくります。家庭の料理を一品ずつ持ち寄っておすそわけするなど、一緒に顔を合わせ、話をしながら食卓を囲むことで、コミュニケーションが深まり、より強い地域のつながりを育みます。</p>	
<p>世代をこえて「児童館で同窓会」</p> <p>世代をこえて共通の話題となる「学校給食」をテーマに、人がつながり、地域が育まれる「同窓会」を児童館を拠点に行います。プランターなどで野菜を育てる体験や収穫した野菜で学校栄養士に給食の作り方を教えてもらうなど、地域の子どもから大人までが一緒に取り組みながら、感謝の気持ちや学びを共有し、育み合う機会をつくります。</p>	
<p>空き地を活用した「まちなか農園」</p> <p>まちなかの空き地を活用し、作物の栽培や収穫を体験する機会をつくります。「まちなか農園」を通して地域の人々がつながるだけでなく、栽培した作物を地域イベントで活用したり、食材や調理器具をキッチンリヤカーに積み込んで「どこでもキッチン」として災害時の炊き出しに活用できるようなしくみづくりも考えていきます。</p>	
<p>災害に備えて「生き残り大作戦」</p> <p>いざという時に自分たちで行動できるよう、「つながりづくり」と災害時に役立つ「生き残り体験」を日常から企画し、それを通して地域のつながりをつくります。火おこし体験や非常食の試食会、すでに区内に設置されている「かまどベンチ」を使うなど、取組を通して仲間とつながりながら、絆の強いコミュニティを育みます。</p>	

(2) 地域の想いと取組アイデア：立川児童館

立川児童館でのモデル地域ワークショップでは、次の4つの取組アイデアが提案されました。

区民が主体となって進める取組アイデア	基本目標との対応
<p>多様なコミュニティが集う「タテカワの森」</p> <p>取組を行う多様なコミュニティを木に例え、コミュニティの木がつながる森のような地域をつくることで、災害などにも強いまちづくりをめざします。児童館を拠点に、若者も中高年も集える「居場所」づくり、地域の人が出会える「ひまわりカフェ」の運営、地域の達人と一緒に作るオリジナルフード「立川巻き」を中心に取り組みます。</p>	
<p>次世代を育む「3世代がつながる食イベント」</p> <p>地域の様々な場を活用し、3世代がつながる食イベントを企画・運営します。立川地域の昔ながらのごちそうを食べるなど、地域のおばあちゃんから子どもへ食の大切さを伝えるイベントや、地域の中で世代がつながる場を活かす機会をつくります。児童館と老人会のコラボで料理教室を行うなど、次世代を育む地域の豊かなコミュニティづくりをめざします。</p>	
<p>子どもを地域で育てる「タテカワ春の鍋まつり」</p> <p>すみだならではの地元グルメ「ちゃんこ鍋」を、地域の子どもの中心にみんなで一緒に作り多世代がつながるイベントを開催します。大きな鍋に持ち寄った具材を入れてつくる巨大ちゃんこ鍋のイベントを地域恒例の取組として行います。また、町会などと連携することで、地域のコミュニティを育みます。</p>	
<p>地域のネットワークを育む「おいしい児童館」</p> <p>世代をこえてつながる取組を「食」をキーワードに児童館で育みます。取組は児童館に留まらず、町会ごとにみんなで料理を作り、一緒に食べる「街かど食堂」や墨田区以外の地域で農業体験や料理教室ができる新たなつながりの創出へと展開します。また、地域ごとの取組を集めた「フードフェスティバル」を開催することで個々の取組の連携を図ります。</p>	

4 地域に根差した取組の実践へ

地域に根差した食育の取組は、その地域に暮らす区民の取組アイデアから生まれ、関わる人たちがその実現のプロセスに手間をかけ、継続的な活動へと展開していく、3つのステップをあゆむことで成果へとつながります。

食育を取り巻く様々な状況の中で新たな食育の取組にチャレンジすると、困難な課題に直面することがあります。しかし、あきらめずに取り組み続けることで、様々な人たちとの感動が生まれ、一緒に取り組むことでお互いを育み合う関係性が培われていきます。こうして、地域に根差した「すみだらしい食育文化」を育む活動が進み、『協創』の食育が実現していきます。

地域に根差した食育の取組：3つのSTEP

